デジタル版
2025年
09月11日号
Vol. 175

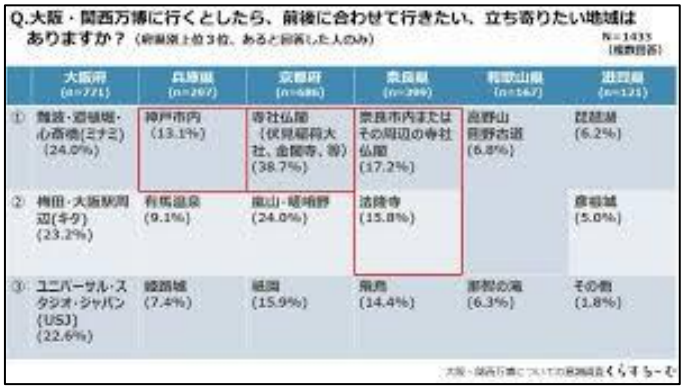
成岡マネジメントオフィス事務所通信

NMO OfficeLetter

万博人気で京都経済低迷か

大阪関西万博が、事前の評判を覆し快調に入場者数を伸ばしている。先日の休日には最高人数の18万人を超えた。会場が広く、多くのパビリオンを見ることができないので、リピーターが多いという。このあおりを受けて、京都経済にマイナスの影響が出ている。宿泊客数、飲食店や土産物店の売上が軒並み減少。酷暑の影響もあるとはいえ、万博をあてにしていた京都経済界は空振りに戸惑っている。

＜解説＞これを某氏が名付けて「ブラックホール現象」という。大量のエネルギーがブラックホールに吸い寄せられ、吸収される。万博が、関西経済にとってこのような象徴的な現象になっている。事前の予測と外れたのは、リピーターの多さ。特に、大阪周辺の近隣に住む人たちは、通年パスを購入し既に数回の来場をしている。関西の近隣地区に居住する人たちも、同様の傾向があり、京都を素通りしてしまう。宿泊などは論外で、日帰りで何回でも万博に通う。関東、首都圏の人も、京都を通り過ぎ大阪へ直行。大阪の飲食店や関連の産業の売上は大きく伸びている。まさに、大阪独り勝ち。今年のセリーグのペナントレースとそっくりだ。京都への観光客は、従来インバウンド観光客で維持されていたが、今年の夏の酷暑がSNSで拡散し、京都は暑いという評判が定着した。実際、屋外を歩いている観光客は、目に見えて減っている。屋内施設への予約は満杯で、任天堂ミュージアムは予約が取れないくらいだ。屋上ビアガーデンも暑すぎて、ビールどころではない。大阪万博では、関西広域にその影響、余波が拡がると期待されていた。ところが、ふたを開けてみたら、上半期は影響は小さかったが、エンドが見えてきた後半は来場者数も増え、京都を通過する人が増えてしまった。成岡が関与する食品関連企業でも、7月から8月にかけての売上は、例年の80%くらいに留まり、先日の営業会議でもその理由が分からないと担当者から戸惑いの声が聞こえる。一過性ではある現象だが、まだ閉幕まで1か月近くある。このまま京都経済にマイナスの影響を与えるのか、どこかで転換点が来るのか。大きな影響を受けている、宿泊、飲食、土産物関連事業者の動向が注目だ。



Q.大阪・関西万博に行くとしたら、前後に合わせて行きたい、立ち寄りたい地域はありますか？（複数選択上位3位、あると回答した人のみ）

N=1433（複数回答）

	大阪府 (n=721)	兵庫県 (n=207)	京都府 (n=686)	奈良県 (n=299)	和歌山県 (n=167)	滋賀県 (n=121)
①	難波・道頓堀・心斎橋(ミナミ) (24.0%)	神戸市内 (13.1%)	寺社仏閣（伏見稲荷大社、金閣寺、等） (38.7%)	奈良市内またはその周辺の寺社仏閣 (17.2%)	高野山 熊野古道 (6.8%)	琵琶湖 (6.2%)
②	梅田・大阪駅周辺(キタ) (23.2%)	有馬温泉 (9.1%)	嵐山・嵯峨野 (24.0%)	法隆寺 (15.8%)		彦根城 (5.0%)
③	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン(USJ) (22.6%)	姫路城 (7.4%)	祇園 (15.9%)	飛鳥 (14.4%)	那智の滝 (6.3%)	その他 (1.8%)

大阪・関西万博についての意識調査くらすらーむ

BUSINESS MANAGEMENT&COORDINATION
株式会社成岡マネジメントオフィス
〒616-8104 京都市右京区太秦下刑部町170
プレサンスロジェ太秦天神川駅前613
TEL:075-366-6611 FAX:075-366-6100 info@nmo.ne.jp

Copyright (C) Naruoka Management Office. All rights reserved.